

|                |  |
|----------------|--|
| 会議名            | 令和5年度（2023年度）第2回 情報化推進懇談会  |
| 日時             | 令和6年1月15日（金）10:00～12:00  |
| 場所             | 吹田市役所 特別会議室  |
| 資料             | <p>【資料1】 令和5年度第2回懇談会次第</p> <p>【資料2】 吹田市デジタル政策0.1</p> <p>【資料3】 補足資料1 デジタル政策素案補足資料</p> <p>【資料4】 参考資料2 （仮称）吹田市デジタル政策個別施策群(案)</p>  |
| 参加者            | <p>&lt; 委員 &gt;</p> <p>A委員、B委員、C委員、D委員、E委員、F委員</p> <p>&lt; 事務局 &gt;</p> <p>今峰行政経営部長、武井情報政策室長、濱田情報政策室参事、<br/>松井情報政策室主幹、北情報政策室主任、有限監査法人トーマツ</p>  |
| 議事録<br>< 発言者 > | <p>&lt; 発言内容 &gt;</p> <p><u>開会</u></p> <p>事務局</p> <p>ただいまから令和5年度第2回吹田市情報化推進懇談会を開催いたします。</p> <p>本日、司会を務めさせていただきます、行政経営部情報政策室の武井でございます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は事務局の確認のために録画録音をさせていただくことを、あらかじめご了承いただきたく存じます。</p> <p>会議に先立ちまして本日は傍聴の希望者が2名いらっしゃっています。傍聴を許可することに異議はございませんでしょうか。</p> <p>出席者一同</p> <p>異議なし。</p> <p>事務局</p> <p>ご異議がないということで、傍聴の方にはご静粛いただくということをご前提としまして傍聴を許可いたします。</p> <p>それでは議事の方、進めさせていただきます。</p> <p>お手元に配布してございます、次第に沿って説明させていただきます。</p> <p>次第1としまして、本市行政経営部長から一言ご挨拶を申し上げます。</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>---吹田市行政経営部長より挨拶---</p>  |
| A委員 | <p>それでは引き続き、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。<br/>         次第2、(仮称)吹田市デジタル政策案について、事務局に説明を求めます。</p>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹田市デジタル政策 (Ver0.1) (以下、デジタル政策)</li> <li>・令和5年度情報化推進懇談会補足資料(以下、補足資料)</li> <li>・(仮称)吹田市デジタル政策個別施策群(案)(以下、個別施策群一覧)</li> </ul> <p>&lt;事務局より説明&gt;</p>   |
| A委員 | <p>説明が終わりましたので、質問も含め、次第3、ディスカッションに移ります。</p> <p>事務局から説明がありましたように、今回の政策は一般の方向けに言葉も分かりやすく、文字も少なくしていただき、さらに前回の懇談会時の意見を取り入れていただき、本資料であるデジタル政策となりました。</p> <p>デジタル政策の資料に関して、今回良かったと思ったことは、表紙の絵において、赤ちゃんを抱えているのが男性であることが非常に良いなと感じました。</p> <p>また、3ページの全体像で、デジタルという言葉は少し前までICT等を使っていましたが、私からするとハードウェアやシステム寄りの考え方であり、デジタルというのは、どちらかと言えばデータを利用するというソフトウェア寄りの考え方であります。</p> <p>国もデジタル庁を設立され、デジタル自体が非常に馴染み深くなりましたが、デジタルに対するものとしてアナログがあり、一般の人からすると、アナログとは何かというところがあると思います。</p> <p>アナログ領域という言葉は、人間という意味とのことで、分かりやすい資料とするのであれば、デジタルに必ずしも対するものがアナログということではなく、デジタルの意味が前までのICTやコンピューターを使うということであれば、アナログとは人間が対応するという意味だと思われます。アナログを残すのであれば、アナログという言葉のカッコ内に入れ、「人間や人」という言葉が使われた方が良いのではないのかと思いました。</p> <p>4ページは、女性の方が赤ちゃんを抱えています。表紙と同じく男</p> |

性の方が良いのではと感じます。

ですが、男女平等であり、男女と言う表現自体が時代にそぐわないので、これはこれで良いのかも知れません。

8ページの真ん中、体系にこだわらないというところに、網掛けの説明で、「常識にとらわれない」という言葉が使われていますが、この常識というのは恐らく市役所職員の方の常識であって、市民の方の常識ではないと思います。

そのため市民からすると、いわゆるお役所仕事のように思われることがあるので、常識よりも今までの慣例や前例にとらわれないというような表現の方が、一般の市民の方にとっては良いと思いました。

常識はあくまでも市役所職員の方の常識だと思うので、言葉を変えられた方が良いと感じました。

9ページのPDCAについても、「PDCA」は確かに現在でも使っていますが、昔の終戦後の日本が短期間で先進国に仲間入りしたときのQC7つ道具と言われた時に使っていた、いわゆるアナログ的な改善方法と考えています。

今のデジタルの世界で行われているのは、PPDACと言われていて、プランの前にもう一つP（プログラム）があり、まずは問題が何かという問題発見というところが、大変重要視されていると思われま

す。問題発見がしっかりできていないために、結果的に市役所の方が良かれと思って行っていることと、市民がして欲しいことに齟齬が出ており、最初の問題発見の過程が抜けているのかなという気がしました。

PDCAは確かに今でも使っていますが、プランというところの中に文言だけでも「問題発見」という言葉を入れられたら、より市民感覚に近づくのかなという気がしました。

他の委員の方、どのように思われていますか。

B委員

個人的には今のPPDACサイクルはすごく勉強になりました。

確かに問題発見がまずあったうえでの計画であり、その後に繋がっていくので、問題発見を忘れてはおざなりになったり、通り一遍のものになってくるのかなと思うので、これは個人的にも肝に銘じて行いたいと思いました。

全体的な印象としては、やはり学生のワークショップが大変効いていたのか、表現がすごくシンプルで分かりやすくなっているのかなと思い、ざっと資料を見る限りでは、すっきりしていると思いました。

また、見える化というのがとても気になり、どのように見える化をし

ていかれるのかなと思いました。

施策については、別紙の表にこれからどんどん落とし込みを行い確認されるということなので、これが見える化になるとは思いましたが、内部で確認の資料としては有効であり、全体の計画に基づいて確認をしていくという意味ではとても分かりやすいですが、これを市民にどう発信していくのかなというところは、とても気になるところです。

また市民参加の部分で、期間中にアンケートを2回取るということで、アンケートは非常に有効であり、市民の意見を反映していくという意味では、効果的な手法なのかも知れないですが、どのようにアンケートを取っていくと思われているのかなと思います。

アンケートはとても使いやすい手法であり、アンケートを取ることは理解できますが、私たちでもGoogleフォームを使うなど、もう紙はほぼ使わない形で行っています。

一方で、やはりアナログ世代の人たちに向けても、当然すべての人に恩恵をとということであれば、その方たちにもどのように発信していくのかなと思います。

そもそも全体的に分かりやすくしたとはいえ、表現的に馴染みがない世代にとっても、デジタル化が恩恵になっているということを伝えていき、それに対しての意見ということを出すとなれば、どのようにアンケートを取るのかなというのが素直な見方です。

紙であっても、書かれている内容を誰が読み解いて記入していただくのかとても気になることであり、分かる人だけにデジタルでアンケートを取っていくとなると、結果が偏ると考え、アンケートの方法も変わるの間違いはないと思いますが、移行期や過渡期でもあるので、そこをどう対応するのか、今の段階でのご意見等を聞かせていただきたいと思いました。

事務局

アンケートの話をしていただきましたが、前回の懇談会の際にもA委員から、分かりやすいアンケートにしないと、答える方のハードルが上がってしまい、きちんと意見をもらえないという御意見をいただきました。

そのため、アンケートの中身としては、答えやすいというのが大前提として据えたうえで行うのが基本になると思っています。

前段でいただいたご質問とも繋がるかと思いますが、アンケートを答える前提として、デジタル化で結局何ができるようになったのかということが市民の方に分かりやすく見えないと、進んだ、進んでいないの選択に答えようがないというところもあるかと思っています。

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>そういった中で、個別施策群をどのように落とし込んでいくかということもありますが、具体的にこんなことができるようになってきました、これができることでこんな効果が出ましたということを前提の情報として示したうえで、実感としてデジタル化が進んでいるのかどうかということ、ご意見をいただけるような形では考えたいと思っています。</p> <p>回答フォーマットといたしましては、まず3年後にどういった社会情勢になっているかということも踏まえて、紙がなくなるということはないとは思いますが、そこも踏まえてできるだけ分かりやすく、気軽に答えていただきやすいようなフォーマットでは考えていきたいなと思います。</p>  |
| B委員 | <p>紙でもデジタルでもいいですが、設問があってそれに答えるというやり方ということですね。</p>   |
| 事務局 | <p>今のところはそういった想定で考えております。</p>   |
| B委員 | <p>アンケートの取り方もいろいろあるかと思うので、例えば、いくら分かりやすく表現するとしても、基本的にどこまで理解をしているのか、実際の施策の使い勝手とかを聞くのであれば良いのかも知れませんが、説明をするという過程を踏まないと、やはり分かりにくいと思います。</p> <p>紙だけが届いて書いてくださいと言っても、そもそもどこから書いていいのか分からないと思います。</p> <p>当方のセンター方で自治会向けのICTのアンケートを取ったことがあります。できるだけ分かりやすく工夫をしたつもりでしたが、やはり分からないというところで、自由記述のところにはいっぱい書かれてありましたが、自由記述はデータ化がとてもし難いこともあります。しかしながら誠実に答えようとしてくださっているのも、その意見を踏まえてどんな風に生かしていくのかということがあり、何年後かにはもう少し分かりやすくアンケートが行えるスマートな方法があるのかも知れないですが、自身の経験からも、なかなか難しいということを経験したので質問してみました。</p> |
| 事務局 | <p>ぜひ、いろいろご教授いただければと思います。</p> <p>市の別の計画で取った調査は、調査票自体は同封せずに、「無作為抽出で当たりました、アンケートにご協力お願いします」と記載し、webで答えられる方はこちらへというリンクを貼り、「紙での回答をご希望の</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>方はお電話ください」という対応で実施した結果、多く電話があり、結果紙で答えられた方も多かったと聞きました。</p> <p>過去市の他の計画において、webのリンク先での回答の傾向として、40代30代の回答率が過去の他の計画等含めてですが少し上がりました。</p> <p>どうしても50～60代や、割と高齢層の方が真面目に答えていただけませんが、30～40代等若い方は忙しいし、あまり興味もないため、紙のボリュームが大きいアンケートが届いても、あまり反応が良くないことが多いですが、その回答率が少し上がりました。まんべんなくどの世代からも聞き取りができるようにというのは、2～3年後の情勢にもよりますが、工夫をしていきたいなと思います。</p>  |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>他、意見お持ちの委員の方いらっしゃいませんか。</p>   |
| C委員 | <p>私は市民委員という立場で、率直に見て思ったところを話させていただけばと思っております。</p> <p>まず、A委員がおっしゃられていた、これまでの行政の計画としては文字を多く減らしたというところで、非常に読みやすく良いなというところは率直な意見であります。</p> <p>ただ、この資料だけを読んで具体的なイメージが湧くかというところ、それはまた難しいところでもあるかなと思いました。</p> <p>個別施策群一覧に記載している施策についても、具体的にどんな風に発信されていくのかというところがB委員からもありましたが、例えばデジタル政策の公表時に、スケジュール面で難しい面もあるかも知れませんが、個別施策群一覧も含めて、いくつか施策をピックアップしていただいて、具体例として、デジタル政策の5つのビジョンに紐づけて示していただければ、よりイメージが分かりやすくなるのかなと思いました。</p> <p>アンケートに関しては、アンケートを取りますというところは良く分かりますが、現状こういう成果を期待しているというのが少し分かりません。</p> <p>市民のデジタル化への満足度が何%や、個別や具体的などころで良いかも知れませんが、根本的などころでこういうことを目指していきますといったところも、アンケートのPDCAサイクルのところ、もし記載いただければ評価しやすいかも知れないなと思いました。</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>最後にビジョンの3つ目の人材と財産の無駄のない活用というところの書きぶりについて、人材面で外注なども含めて、現状のデジタル関係の業務は外部の力も頼りながら、職員の負担を減らしていくという面は書かれてあり、それはもちろん大事だなと思いますが、デジタル技術の活用によって職員の方の負担を減らして、人的リソースが必要な他の業務に人を充てていきますというニュアンスがもう少し伝わると良いなと思いました。</p>   |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>そうですね。個別施策群一覧と対応付けしていただくとより良いものになると思います。</p> <p>その点に関しては最後おっしゃっていただいた人材の、個別施策群一覧の3番目の人材のところに丸がついていないが、これは良いのでしょうか。</p>   |
| 事務局 | <p>説明が不足していましたが、具体的にどういった施策があるのかという一覧を、イメージとしてサンプルでお付けしたものとなっております。</p> <p>そのため、多少網羅できていないところもございます。具体的な視点でビジョンをさらにブレイクダウンしたばかりであり、視点等もまだ増えてくるものがあると思っています。</p> <p>そういったなかで、個別施策群一覧そのものを成長させていき、ご意見いただいた人材育成のところも、国から言われているデジタル人材育成活用というものがありますので、そういったところもきちんと落とし込んでいきながら、個別施策群一覧としては発展させていく考えです。</p> <p>具体的には、この計画自体は3月末で庁内の承認手続きをいただき、4月早々にはお出しできると思っていますが、その頃には、令和6年度の予算も固まってきておりますので、6年度はこんなことを進めていこうという内容を併せて出せるようになると思います。</p> <p>そういったところも併せてご覧いただけるような形で、今ご意見いただいたようにできるだけ分かりやすく、この政策があるから結局何ができるのかというようなイメージをしやすいような形で、公開していきたいということを考えているところでございます。</p> |
| B委員 | <p>人材のところは体制にも関わってくるかと思いますが、具体的な施策に取り組むとなると、すべてのセクションにまたがることになってくると思いますが、デジタル化に向けて各課で検討するような会議体や検討</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>会みたいなのはあるのでしょうか。</p> <p>デジタル化に特化しているものはないです。</p> <p>庁内横断的に持っている情報化推進本部会議という組織がありまして、そういったところで今まとめているような形にはなっております。</p> <p>ただ、情報化という概念そのものがいろいろな政策や、いわゆるソフトウェア的なところも含めて広がってきたようなところの中で、庁内の政策決定の位置付けや、情報化の体制のあり方も併せて見直すべきところではあると思っています。</p> <p>それぞれの各課でデジタルに関して意思決定というようなところまでは至っていない状況です。</p>  |
| B委員 | <p>市民に直結したサービスというと、やはり福祉であったり、教育であったり、日常生活に向けてのサービスを提供する課だと思っています。</p> <p>その課が日々の業務に追われていたりして、なかなかデジタル化に向けての対策に取り組むというのが、手が回らなかったり、つつい分かってはいるけれど対応できていないような感じの先送りになり、せっかく方針を決められて進めているが、実際に何か具体化できるのかというと、なかなかそうはならないと思います。</p> <p>その事情が、実は庁内の体制の問題であったり、人材の話をするデジタル人材を雇用しましたというお話はよく聞いたりしますが、もちろん専門的な職員を雇用するというのは、全体を牽引していくうえではとても重要なことだと思います。ただ、その人を入れたからと言って全体の施策が進むわけではないので、そういう体制的なものをしっかりと位置付けられて、各課からなぜデジタル化するとその市民サービスが向上するのか、何から手をつけていけば良いのか、そういうことをしっかり話ができる機会があれば良いのかなということを少し思いました。</p> |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>D委員、何かご意見ございますか。</p>  |
| D委員 | <p>資料を見させていただいて、大学生の方のご意見も入れられて、非常に分かりやすく良いなと思っていました。</p> <p>事務局の説明も聞いてより理解が深まったところです。</p> <p>非常に丁寧で分かりやすい資料だなと思いました。</p> <p>B委員の話と被るかも知れませんが、各課で進めている施策は非常に評</p>   |



|     |   |
|-----|---|
|     | <p>判が良いことも多く感じていますけれども、それがデジタル化にどう繋がっているのかまで意識して、日々の業務を捉えられているのかなという心配は私もしています。</p> <p>例えば福祉総務室が中心となっております災害時の個別支援計画は、各方面でも非常に評判が良いと聞いています。</p> <p>このフォーマットは吹田モデルでとても良いと聞いていますが、やはり昨今、能登半島の災害があり、その個別支援計画がデジタル化されていないと思いますが、災害時の準備はもう少しあっても良いと思います。</p> <p>4番目のビジョンについて、災害などの非常時においてもデジタル化と書いていますが、具体的にどういうことなのかなという気がしていました。</p> <p>あと、誰もが取り残されないというようなテーマで進めていますが、先ほどA委員の話の中で、イラストで高齢者とか子育て中のお母さんの話がありましたけれども、ここに視覚障がいとか聴覚障がい、障がい者にとっても取り残されないようなイメージのイラストが1枚でも入っていたら良いのかなと感じたところです。</p> <p>もう1つ、デジタル化の普及によって、また新たなトラブルとして、吹田は詐欺が多いですから、そういったことのセキュリティのところでも騙されない高齢者、デジタル化によっていろいろ手を変え品を変え、考える方はいろいろなことをしてきますので、詐欺に繋がらないようなメッセージがあっても良いかなと思います。</p> <p>デジタル化によって人材と財産の無駄な活用とありますが、デジタル化によって市の職員を減らしても良いとか、楽になるとかというような、誤ったメッセージが届かないようにして欲しいなという気持ちがあります。</p> |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>表紙に障がい者の方を入れた方が良いですね。</p> <p>今のご意見に、事務局の方から何かありますか。</p>   |
| 事務局 | <p>先ほどのB委員のご意見と少し重複にはなりますが、所管のデジタル化の支援ということは、我々の経営層からもよく言われています。</p> <p>所管がしっかりとデジタルを活用して、施策そのものをデジタルの力で推進していくための役割を、我々がしっかり果たしていくこと等の位置付けについては、重々承知をしているところでございます。</p> <p>今現在取組を少し紹介させていただきますと、ICT相談という名前</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>で実施している取組で、各所管がいろいろな施策をデジタル化するときの困り事について、我々が悩み相談みたいな形でお聞きをすることで、一緒に解決をしていくというような仕組みを行っております。</p> <p>そういったところからさらに進めていくような、仕組みづくりができれば、ご意見いただいたようなところに資するところになってくるのかなと思います。</p> <p>イラストに関しては検討したいと思います。</p>   |
| A委員 | <p>C委員とD委員の意見で両方とも出てきている3番の人材のところですが、市民のQOLは書いておられますが、職員のQOLやワークライフバランスのところをしっかり行わないと、職員の方がいつも手一杯で、質問を聞きに行っても面倒くさいような対応されても困ります。</p> <p>やはり職員も一市民でもある方がたくさんおられると思いますが、余裕を持った仕事をしていただかないと対応が人間なのでうまくいかないと思います。</p> <p>先ほどC委員がおっしゃったように、職員の方が楽をすとか、人材を減らせられるというイメージに捉えられないように、DXがそうですが、業務改革を行って浮いた時間を市民の個別対応に回すことより、先ほどのアナログ領域のところ、もう少し今以上のサービスができますということが書かれていても良いのかなと思いました。</p> <p>DXは楽をするためではなく、時間を余らせてそれを違うところに持っていくことであり、そうでないと職員の方もやることばかりで困るといのは思いました。</p> <p>E委員、何かご意見ございますか。</p> |
| E委員 | <p>所管で作成されるこの計画っていうのは、私も見る限りはもう十分じゃないのかなと思いました。</p> <p>私の1つの案としてですが、結局どうやってデジタル化を浸透させていくのか、難しい話と思われたらもう市民には響かないと思っています。</p> <p>市民の方の利便性というか、いかにこれをデジタル化することで生活が楽になるとか、そういったことが把握できると単純に「これは良い」と思わせるのが結局重要なのかなと思います。</p> <p>例えば便利なデジタル化として、カルテ等をデジタルクラウド化して、どこの病院でも初診診断は省けます、住民票も簡単に取れます、施設利用をするときには直接行かないといけない等もありますが、そういうこともデジタルで全部クリアできます等、計画にももちろん俯瞰では入っ</p>   |

A委員

ていますが、それぞれの利便性の1つ例があると、「デジタル化は良い」に繋がるのかなと思いました。

安全性のことも書かれていましたが、ここが最終的にはなかなか信用されないことは日本特有であります、安全性というのはどこまでいっても追求させられると思います、ここをいかにプロモーションや訴求していくかというのも、計画の中にもあって良いのかなと思いました。

デジタルにすることで予算も縮小できることもあると思うので、そういったことも、どんどん分かりやすく出していっても良いと思いました。

ありがとうございます。

今おっしゃっていただいたように具体例を入れたほうが良いと思いました。

大きなテーマが人と繋がるということだと思っていますが、どうしてもデジタルデバインドでデジタルを使えないという人、デジタル化の日陰になってしまう人たちは、最初のアナログと書いてあるところでカバーして、今回学生を使っていると思いますが、吹田市はたくさん大学もあるし大学生も多くいるので、学生を使っていることで学生にとっても非常に今回も良い経験をさせていただいています。

そういうことを利用して、デジタルを使えない人をアナログで対応するにあたり、市役所の職員は多分人数が足りないでしょうから、それぞれ学生を利用してもらおうと、日陰がなくなるのではないのかというような気はします。

F委員、何かご意見ございますか。

最初の所感としては非常に見やすく分かりやすいなというのがありました。

気になった点としてはアンケートそのものではなく、見直しのときに、市民アンケート対象範囲にビジョンが入っていますが、ビジョンは見直すのかというのが少し気になりました。

普通はビジョンが決まっています、それに基づいて個別施策が出てくるという話なので、ビジョンがコロコロ変わることは個別施策も変わってしまうという話のため、ビジョン自体は見直さず、そのビジョンから出てくる個別施策が、市民にとってふさわしいものになっているかと考えます。

もちろんビジョンが合っているかどうかは聞いても良いと思いますが、施策の方を聞く方が大事なんじゃないかなと見ていて思いました。

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>私だったらビジョンでできていますかと言われても、この内容だと曖昧な表現のため、「できています」と答えるかなと思います。</p> <p>ただ、個別施策で見ると、この部分がない等いろいろな意見が出てきそうかなと思いますので評価の仕方かなと思いました。</p> <p>結論としてはビジョンに関しては最初に確認をして、これで良いのであれば突き進む方向で良いと思います。</p> <p>本当に足りないと思ったら、こういった会議体を開催するか分かりませんが、そういうところできちんと意見を聞いて、大きく修正していくという話だと思います。</p>           |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>ビジョンが変わるのは問題と考えます。</p> <p>今おっしゃっていただいた個別施策というのは、やはり具体例がないと答えにくいです。</p> <p>イメージが湧かないというところがあるので、皆さんおっしゃっていただいたようなところは、入れておかないと分からなくなり、また曖昧なままということになりそうな感じがします。</p> <p>出席いただいている委員の方には、一通りお伺いしましたが、他に追加や意見をお持ちの方いらっしゃいますか。</p>                                     |
| F委員 | <p>もう1点確認ですが、具体的な施策を個別施策群一覧に入れるというお話でしたが、逆に入れ過ぎたら分かりにくくなりませんかと思いました。それはまた別に用意するという形なのか、このデジタル政策とまた別に個別施策として突き合わせたものがあり、それで詳しく見るようにするのか、個別施策群一覧自体をフォローアップするのか、どちらかの方針を決めた方が良いと思いますが、事務局として何か案はありますか。</p> <p>デジタル政策自体は非常にすっきりして分かりやすいなと思っていて、このデジタル政策に個別施策を盛り込んだら、行間が詰まって見づらくなると思います。</p> |
| 事務局 | <p>基本はリンクで進めた方が良いという気はします。</p> <p>まだ途中ですけれども、個別施策群一覧の取組に進めると、このビジョンのここの部分に寄与しますよというような、個別施策群一覧とうまくリンクさせていき、5ページ以降のイラストを、もう少し具体例で示すようなものが表現されているイラストや、もう少し文字を入れて少し変えるだけでも、分かりやすくなるのかなという気がします。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| A委員 | <p>職員の方がたくさんおられるので、フリー素材だけではなく書いてもらえそうな人が絶対いると思います。その方をお願いしたらどうですか。</p> <p>一般的な図になっているので、今おっしゃったようにイメージが湧かないと思います。</p> <p>実際職員の方も関わることは良いと思います。</p> <p>この個別施策群一覧も、今おっしゃったように丸ではなく、丸の代わりに具体的に何するかを書かれた方が良いのではないですか。</p> <p>個別施策群一覧というよりは、実際にこの政策の説明で、こういうことを行うということを書いたら1枚で収まりそうな気がします。</p>  |
| 事務局 | <p>個別施策群一覧の見せ方も含めて、おっしゃるようにすべてのデジタル関係の施策をデジタル政策に詰め込んでしまうと、とても見にくくなると思うので、市民に見ていただいたときに、できるだけ分かりやすいような、逆に言うと分かりにくいものは一旦取ってしまうようなまとめた形で、お見せできるようなフォーマットを考えていきたいと思います。</p>   |
| A委員 | <p>デジタル政策はデジタル政策で置いておき、個別施策群一覧をもう少し充実させデジタル政策と繋げられて、デジタル政策のビジョンが個別施策群一覧で具体的にこの施策に当てはまるというような表現の方が分かりやすいのかも知れません。</p>  |
| B委員 | <p>個別施策群一覧も、役所で行っているDXを活用した取組の、網羅のようなことを漏れなく拾おうとすると、向こう5年間で数もどんどん増えていってしまうと思います。シンボリックや典型例、このビジョンの推移で目指す姿として示しているものに、こういうことができたら目指す姿に確かに近づいていると実感していただきやすいようなものを、各ビジョン、各分野漏れなくお見せできるというようなところで、分かりやすく、具体のイメージを持っていただけるようにというのは、少し工夫の余地があるかなと今お聞きして思いました。</p> <p>その辺をお示ししてアンケートを取らないと分からないということですよ。</p> <p>役所の手続きは、日常生活で実際手続きをする頻度や経験は、一般市民の方はそんなには多くはなかったりすると思います。</p> <p>ライフステージで結婚、出産、親族が亡くなられた時には集中して発生しますが、そのようなことを行っていることを知らなかったら、進ん</p> |

|     |   |
|-----|---|
| A委員 | <p>でいるか進んでいないかも分からないと思います。<br/> そこを個別施策群一覧などで上手く工夫していただきたいなと思います。</p> <p>役所内に職員が立たれていますよね。<br/> 市役所に入って、どこ行けば良いか分からない、何をすれば良いのか分からないときに声を掛けていただき、ガイドしてくれています。<br/> 多くの職員が立たれていて、とても良いと思いますが、あの方達の意見はとても市民に密着した意見を聞けると思っています。<br/> どのようなことを聞かれることが多いか、この案内が非常に多い等、この工程をデジタルしたら、どの人に対しても同じ対応ができるなど、具体的になると思います。<br/> 人によって聞いたことが違うこともあるため、ガイドで活躍されている方の意見というのは、実際来た人が何に困っているのかに関しては、非常によくご存知と思われるます。<br/> デジタルする前のアナログのところの、データとかの活用になると思います。</p> |
| 事務局 | <p>ここ数年内ぐらいにコンシェルジュとして、立っている職員用にタブレットを導入しています。<br/> 今までは紙のファイルやクリアファイルに資料を入れたのを持っていましたが、タブレットをお渡しして、ホームページ等に希望する手続きにチェックしていくと〇〇室課にて手続きをしてくださいと案内するというコンテンツがあり、その辺を調べてこられない方、市役所に来たら何とかなると思っている方も多いので、代わりに調べて見せるというようなことはしています。<br/> 確かに、どんなことが分からず来ているのか、それに対してどのようなコンテンツがあったらうまくご案内ができるのかというようなところは、一度お聞きしてみても良いかなと思いました。</p>  |
| A委員 | <p>年度替わりは転入転出が非常に多く、同じことを対応すべきですが、同じことをいろいろな人に聞かれると聞かれる方も嫌ですよね。<br/> さっき言ったことを聞かれても嫌なので、その辺はやはりデジタルを活用して対応いただきたいと思います。<br/> 時期的に混む時は皆さん同じで、税金等の支払い時とかも同じだと思います。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>たくさん来られるときは同じ目的で来られることが多いと思うので、その時はやはりこういうパターンはこうすれば良いというのは、デジタルが使えるところだと思います。</p> <p>冠婚葬祭とか、いつ起きるか分からないこともありますが、年度で考えるとこの時期はこれというのは結構ありますよね。</p> <p>ガイドの方達は非常に良くご存知だと思います。</p> <p>市民はホームページを見ても分からなかったら聞くということをされていると思いますが、それに対してホームページにこういうことを入れる必要があるというのも分かると思います。</p>   |
| 事務局 | <p>事業の中で相談事があると全部整理しておいて、それに対してどういう対応をしたのかということは全部まとめておいて、対応が人によってばらつかないようにとか、すぐに答えられるものであれば、調べる手間を省くことは心掛けたりしています。</p> <p>P D C A サイクル等、A委員がおっしゃっておられた課題設定や問題意識の辺りも含めて、市民に近い目線の中で、本当に市民が求めている、困っていることは何かというのは、そういったところがヒントになってくると思いますので、その辺りは検討してみたいと思います。</p>   |
| A委員 | <p>他、何かご意見や質問、お気づきになったことはございませんか。</p>   |
| E委員 | <p>先ほどのご意見やお話聞いていて私も思いましたが、アンケートもP D C AのPの前に、どうデジタル化を望んでいるのか把握しておいても良いのかなと思いました。</p> <p>どうデジタル化したら良いのかというのは、理解しにくいところがあると思いますが、それでも意外とずれていたりすると思います。</p> <p>この件はデジタルが必要ではなかった等あるかも知れませんが、もし触れる機会があればプランの前に聞いても良いと思います。</p> <p>先ほどの話と一緒に、具体例を出すにも対応型のデジタルサービスもちろん大事だと思いますが、能動的のような、例えば行政の施策でこんな良いサービスがある、こんな補助金がある等、デジタル化でどんどん可視化できると、市民の理解も増えていき、市民からデジタル化を早く対応して欲しいという声が出るぐらいの計画になれば理想なのかなと思いました。</p> |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| D委員 | <p>おっしゃるとおり広報のところであり、市民に良かれと思って行っているの、こんなことを進めているのでぜひ使ってくださいと広めることは大切であり、使ってみないと分からない、そもそも存在自体知らないということでは困ると思います。</p> <p>D委員、何かご意見ございませんか。</p> <p>話が少し違うかも知れませんが、先ほどコンシェルジュの話があり、対面で話を聞きに行こうという方も一定数おられるというのは私もそう思います。</p> <p>最近居酒屋でも注文するときにスマホでの注文になってきており、店員に話したいのという気持ちになるときもあります。行政の方に話しやすい雰囲気があるというのは、大前提であっても良いと思います。</p> <p>デジタル化も進めながら、市民と行政の方が良い関係であるような仕組みで、デジタル化は良いとなったら良いなと思います。</p>                                       |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>今人工知能等いろいろ出ていますが、やはり最後は人間ですよ。</p> <p>今回デジタル化を行います、人間をやはり重視する必要があります、デジタルはあくまでサポートだと思います。</p> <p>検討せずになんでもデジタルに任せるということでは少し困るところはありますね。</p> <p>C委員、何かご意見ございませんか。</p>  |
| C委員 | <p>安心安全のところで1点、災害のお話が先ほどあったと思いますが、年始に大変な災害もありましたが、通信するという環境はどのような状況であっても確保できるように備えを十分にさせていただくというのは非常に大事ななと思っております。</p> <p>また市の方からも、災害時には情報発信をされるかと思いますが、そうした際に、どのように通信を活用して情報を伝えていくかというところで、様々な手段を用意して冗長化しておいて、1つの手段が止まっても他の手段で伝えられることはとても大事ななと思います。</p> <p>当然行われていると思いますし、この政策とは関係ないかも知れませんが、その辺はしっかりお願いできればと思いました。</p> <p>また、細かいところで恐縮ですが、資料表紙のデジタル政策を囲んでいるところの、左半分の丸のところの5G、Wi-Fi、Bluetoothの規格のロゴですが、右半分がメールのマークなどのところに比べて少しスペシ</p> |



|            |   |
|------------|---|
| <p>A委員</p> | <p>フィックな感じも受けるのかなと思いますが、何か意図があるのであれば問題はないですが、例えば携帯電話の絵に変えるとか、A I とかに変えていただくことも一案としてあるかなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>2つ目の意見はそうですね。</p> <p>ここだけI T用語が出てきているみたいな感じがします。</p> <p>先ほどの災害時の通信は、吹田市は学生も多いですけどI T企業も結構あり、過去この会議にもそういった企業の方が入っておられました。</p> <p>そのような企業とは、災害時は連携等されるのですよね。</p> <p>お正月に能登で地震があり、今テレビで報道されているとおりのような状況であり、もうすぐ阪神淡路大震災の29年目になるので、盛んに今テレビで放送されていますが、やはりあの辺は通信が弱いところで孤立しています。</p> <p>吹田は都会であり、津波も来ないでしょうけれども、それでも連絡網は大事だと思います。</p> <p>大学と連携だけではなく、企業との連携は行われているのでしょうか。</p>  |
| <p>事務局</p> | <p>地域防災計画という大きいものの中に、外部機関もそれぞれの役割を果たしていただくような位置付けがあり、通信の事業者も入っていたかと思います。</p> <p>個別に協定を結んでいるところもありますし、その規模によっては吹田であっても通信も断絶してしまうような状況も想定がないわけではないと思いますが、その際も早期復旧に向けて計画的なところの整備、訓練のときにもご参加いただくということは行っています。</p> <p>通信のことで言うと、避難所に指定をされているところに関して公衆Wi-Fiの整備をこの数年でして参りました。</p> <p>併せて少し専門的になり恐縮ですが、地域BWAという地域密着な通信事業者があり、そこが吹田エリアに通信事業を行うにあたって、自治体等と協定を結ぶというのがあります。</p> <p>そのなかで避難所のWi-Fi整備の1つとして、各学校の体育館が避難所になっていますが、そういったところにWi-Fiを無償提供いただくという取組がございます。</p> <p>もちろんWi-Fiなので、その上流のキャリアが駄目になってしまった場合の問題については払拭できないところはあると思いますが、その通信に関して委員の皆様からご意見いただいて、とても大事なところでもありますの</p> |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>で、できるだけ確保には努めているところではあります。</p>  |
| A委員 | <p>そういった話を聞いたら答えていただいています、もし吹田で地震が起きた時は、こういうことは大丈夫ですよというようなことを発信されたら良いと思います。</p>   |
| 事務局 | <p>施策を示していくと良い取組ということですね。<br/>あまりそこまで私たちの意識がなかったです。</p>  |
| A委員 | <p>疑問に思っていないと質問する先がなく、どうなっているのかと悶々とされている方はいらっしやると思います。<br/>吹田は今こうなっており、もし同じような地震が起きたときには、こういうことはできるようになっていますということは、せっかく対応されていることであり発信された方が良いと思います。</p>   |
| 事務局 | <p>向こう2～3年かけて、小中学校の全体育館に空調を入れていくことになっています。<br/>空調を入れるにあたって、避難所になったときの一定限の電源確保の部分も併せた検討を行っているはずであり、その辺も安心材料になると思います。</p>  |
| A委員 | <p>阪神淡路大震災のときもそうでしたが、やはりお手洗いが一番困るそう、今能登にも移動トイレの救援を行っておられますが、あの辺も吹田はこういう対応をする予定で済みたいなのも必要と思います。<br/>阪神大震災に被災された音楽の先生もいらっしやあって、一番困ったのはトイレであり、特に女性が困っているということをおっしゃっていたので、今回のその通信もそうですが、「吹田はこうなったらここまでできますよ」ということをお示しになったらいいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>危機管理の方にも発信のところにに関して声を掛けます。<br/>いろいろな計画を作って整備をしていることは、多く進めています。<br/>地域防災計画は辞書のようなボリュームの計画であり、それがどれぐらい進んでいるのかを端的にお示しするというような発想も大事だということは、ご指摘の通りだと思います。</p>  |
| A委員 | <p>昔の映画に黒澤明監督の「生きる」という映画がありました。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>お役所の役員のお話であり、お役所仕事は例えばごみ箱1つ捨てることに対しても、役所では溜まっているごみ以上の書類を作らないといけないシーンや、山積みになっている未決の書類が溜まっているシーンが結構出ていましたが、典型的な昔のお役所と言われていたときのシーンがいっぱい出てきました。</p> <p>こちらが行っていることはどんどん発信されて、分厚いものではなく分かりやすいものがあれば良いと思います。</p> <p>この個別施策群一覧もそうですが、パソコンの画面に収まらないとなかなか見えないですね。</p> <p>全部映すのであればとても小さい字になってしまうので、パソコンでぱっと開いたときに全体が見えるぐらいに絞られた方が分かりやすいかと思います。</p> <p>いくらでも書こうと思えば書けるが、画面の外になっているものはないと思います。</p> <p>今回の資料は随分工夫されて簡潔にまとめられているので、個別施策一覧もできるだけ簡潔にさせていただければと思います。</p> <p>F委員、何かご意見ございませんか。</p> |
| F委員 | <p>やはり個別施策をどう表現して見せるのかが、非常に悩ましいところだなと思います。</p>   |
| A委員 | <p>そこで分かってもらえないと、なかなか分かってもらえないかも知れませんね。</p>  |
| F委員 | <p>このビジョンを公開する前に、市民に対して個別施策はこんなことしていますということを伝える機会はあるのでしょうか。</p>  |
| 事務局 | <p>今のところなはないです。</p> <p>一旦は我々がこう考えているという形で進めていき、中間見直しの時に修正が必要であれば修正しようと考えております。</p>   |
| F委員 | <p>市民が求めていることは実は施策を実施しており、ただ知られていないだけという形もあり得ますし、逆に市が必要はないと思っても、実は市民が求めているものがあるとか、もちろんそれに関してアンケートを取ると、満足できて全部できないという話になるため、優先順位を付ける必要があると思います。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>その辺の市民とのコミュニケーションをどう取ればいいのかというところは非常に悩ましいところと思っています。</p> <p>個別施策は細かいところであり、一番上のキャッシュレス拡充とか、確かにとても重要ではありますが、ビジョンから見ると、とても狭いところにいる感じがします。</p> <p>ビジョンでは大きいことを言っているのに、実施の施策では細かいことをしているだけとなりかねないので、見せ方等は非常に重要と思います。</p> <p>確か関大の150ビジョンも多くのビジョンを出して、施策だけとても多くありますが、それを進めているのかは把握していますが、顧客側や市民側が認識するかと言ったら、なかなか認識いただけないため、見せ方を悩んでいるところです。</p>  |
| A委員 | <p>プレゼン時のパワーポイントに入力する行数は最大6行と言われてますよね。</p> <p>私が習った時は4行と言われていましたが、6行で学生には紹介しています。</p> <p>NHKでニュース7は画面が全部パワーポイントの作り方のルールに従っており、最初に今日のニュースの見出しでは6つ出てきています。</p> <p>たまに大きいニュースがあると増えることもありますが、ほとんどは6つ出ており、大体全部一行に収まるようになっています。</p> <p>画面自体がもうパワーポイントのスライドの作り方になっていて、文章を書かずにあの見せ方ということは、F委員がおっしゃったように、行っている人は自分の仕事であり、たくさん書きたい気持ちはあるが、それを行うと見ている方は分からなくなるため、それを一目で見られるというのは大切です。</p> <p>アンケートの質問の選択肢も7つまでと決まっていますが、あまり見にくくならないようにして欲しいと思います。</p> <p>大事なことを見せたいことは分かりますが、お互い融通し合い、数を絞っていただけたら良いと思います。</p> |
| F委員 | <p>もしかするとこの個別施策群一覧に対してもうひと段階、概略が入るのかも知れませんが、例えばビジョン1や2の下に階層が2つずつありますが、施策が実は6つに並んでいて、例えば施策Aは進んでいますや、その6つの各1つの中にキャッシュレス化があるという形にして、施策の前にどんな方針できちんと実現しようとしているか、それを行うため</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| A委員 | <p>に個別施策として、たくさんの施策があるという形の方がすっきりするかなと思いました。</p> <p>そのような書き方をどこかで見た記憶があり、それに対してAIチャットボットの導入も、ビジョン1や3に書いているとおりそれぞれ管理を行っても良いですが、この個別施策群一覧が一番ポイントになりそうな気がします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>見せ方を少し工夫する必要がありますね。</p> <p>B委員、何かご意見ございませんか。</p>   |
| B委員 | <p>本当におっしゃる通りで、デジタル政策と個別施策群一覧の2種類の資料と見せ方は難しいところかとは思いますが、イラストでも書いてあるように、皆さんが何で情報を得ているのかと言ったら、若い人も高齢者も皆さんスマホです。</p> <p>私たちの仕事は日常パソコンを使用し、パソコンで見える画面のイメージで対応するため、それで情報を得ているように思いますが、パソコンを開いて情報を得ている人はほとんどいないと思います。</p> <p>自分が住んでいる地域の行政情報を、パソコンでわざわざ見る人はほばいないと思うので、スマホでどこまで発信できるかっていうところが、1つは肝かなと思います。</p> <p>やはり目指す未来の姿のなかで人との繋がりや市民参加が謳われているのであれば、例えばそれとデジタルデバインド対策として、データサービスをすべての人にいうところと言うとアナログではありますが、A委員がおっしゃったように、大学が多く存在する特色を活かし、その学生さんたちが少しデジタルに弱い人たち、A委員のお言葉を借りると日陰になる人たち、その人たちにいかに情報を伝えていくのか、そこに人が介在していくというか、そこも想定をされてもいいのかなとか思います。</p> <p>他市の事例ですが、中学生によるスマホ教室を開催すると、とても好評であり、中学生はスマホを触りすぎていつも親に怒られている子供たちで、高齢の方たちは息子や娘に使い方をいくら教えても覚えないと怒られていて、怒られているもの同士が集まって得意なことを苦手な人に教えるようなことをすると、ゆっくりゆっくり分かるようにとか、質問なんかも怒られないから何回もできるとかいうこともあって、とても良い効果を得たという事例もあるため、意外と行政の人たちが説明し回る方法だけではなくて、そういう人たちをうまくこの行政の取組に参加を</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>していただきながら進めていくという方法も大事なのかなと思いました。</p>  |
| A委員 | <p>ありがとうございます。<br/>やはりデジタルと言っても最後は人間ですよ。</p>  |
| F委員 | <p>イラストについて教えて欲しいのですが、これは全部フリー素材のものを使われたのでしょうか。</p>   |
| 事務局 | <p>イラストレーターに依頼して作成したものであり、フリー素材は使用していません。</p>   |
| F委員 | <p>わかりました。<br/>右側の建物は何ですか。</p>  |
| 事務局 | <p>市役所となっています。<br/>イラストについて、今日いただいたご意見は反映を検討いたします。</p>  |
| A委員 | <p>もう一度内容を練り直し完成となった場合に、チェックのところで完了したことを把握できるようになるのでしょうか。<br/>いろいろと書かれていますが、時間が経つにつれて、これはもうできました、これはまだですというような管理はされるのですか。<br/>アンケートも取られるので、市民の方に密着したということであれば、いただいた意見の提示や、達成・未達は見られるようにされるのですか。</p> |
| 事務局 | <p>今でも行っていますが、ホームページ上に各年度予算がこの施策についており、それに対してこういうことが実施されましたということは公表しています。<br/>今は予算と紐付いた形での公開の仕方になっていますが、今後は本計画も策定されますので、デジタル政策に紐付いた形で、こういう施策を打ちましたというのは、どんどんオープンにしていこうと考えています。</p>                  |
| A委員 | <p>先ほどB委員の意見にもあったように、最近はホームページ見ないですよ。<br/>そのためホームページで発信しても、ホームページ自体を見ている人が減っていると思います。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| B委員 | <p>ホームページが一番の情報元ではなくなってしまう、見る人は見るけれど、特に若い人たちが情報を得る手段はホームページではないです。</p> <p>ホームページやインフォメーションに入れたらそれで伝えたと思っ<br/>ていますが、市民は全く見ていない感じになっているので、ホームページ<br/>ではない伝える手段は他にありませんか。</p> <p>動画配信もしていますし、SNS、X、Facebook等扱って<br/>いますが、プッシュとして動いてもジャンルとしては動きづらく、やはり<br/>縁の下の力持ちみたいな部分もあるので、気付いたら便利になっている、<br/>そういうことが進んでいるから吹田に住もうかなとは難しいと思いま<br/>す。</p> <p>例えば子供のいる方であれば、子供医療費や給食の施策は比較するサ<br/>イトも多くありますが、DX数のランキングは日経とかであります難<br/>しいと考えます。</p> |
| A委員 | <p>吹田に住みたい、住み続けたいという言葉があれば良いと思います。</p>  |
| 事務局 | <p>市報の方が見ていただける機会が多いかも知れません。</p>  |
| A委員 | <p>意識として、ホームページに出したら完了と思っていると、意外と若<br/>い人は見ていないような気がします。</p>  |
| 事務局 | <p>その辺は現在国や大阪府も力を入れているところであり、特に大阪府<br/>は府下全域の自治体を集約しており、マイナポータルのような形で情報<br/>が発信できるような仕組みをこの何年かで構築しており、本格稼働が見<br/>えてきたようなところもあります。</p> <p>今具体的には、市民に向けて見せられるものはあまりないですが、こ<br/>の5年ほどの間でおそらく府のものであるとか、国によるマイナンバー<br/>カードの取組もあり、その関係でいろいろなプッシュ型のサービスを行<br/>っているため、そういった大きな施策的に進んでくるところはこの数年<br/>で出てくると思います。</p> <p>できるだけそういったところに乗り遅れないようにしていきたいなと<br/>思っています。</p>  |
| A委員 | <p>本当にせっかく進めていることが伝わらないというのは悲しいと思<br/>います。</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>便利になった部分、安心度が増した部分みたいところが、うまくPRできればというのはおっしゃる通りです。</p> <p>実感に繋がるようになっていくことも考えていくべきです。</p>   |
| B委員 | <p>体制をどう組むかであり、基本情報はホームページにずっと上げていくことにより全部網羅されているけれども、そのなかで市民にぜひ伝えたいことというのは、それぞれの課できっとあると思いますので、何をどういう方法で押していくのか協議が必要だと思います。</p> <p>吹田市もいろいろな情報発信されており、その整理も難しいとは思いますが。</p>  |
| 事務局 | <p>少なくとも調べたいと思った方が、情報を集めやすいような、かつパソコンやスマホで分かりやすくシンプルなところは、個別施策群一覧も含めて工夫させていただきたいと思います。</p>   |
| A委員 | <p>全体通して他に何かご意見とかご質問などございませんか。</p> <p>D委員、何かご意見ございませんか。</p>  |
| D委員 | <p>技術革新を前提にして、やれるところからやっていきたいと思いますというスモールスタート、スピーディーに対応していくというのは行政の計画から見ると、なかなか斬新な手法なのかなと思います。</p> <p>この辺もぜひ市民の方に理解をしていただいて、やれるところからやっていくというのが伝わったらいいなと思います。</p> <p>B委員がおっしゃっていたスマホ講座ですが、大学生の方に声を掛けて福祉委員と一緒にしています。</p> <p>双方にとって非常に良い空間になっており、デジタルが使えない高齢者が取り残されることが心配なので、社協としてはできることからやっていきたいなと思っています。</p> <p>高齢福祉の協議のなかでも、買い物難民の高齢者にスマホで注文することができる配達可能なスーパーの一覧を渡ししながら、そのような取組も協議したことがあります。</p> <p>デジタルが高齢者にとっても自分事として理解できるように伝われば良いなと思います。</p> |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p>   |



|     |  |
|-----|--|
| E委員 | <p>スマホの講習は、時間と場所ですね。</p> <p>報酬はいらないと思いますが、ぜひ市役所で場所の提供等していただけたらと思います。</p> <p>E委員、何かご意見ございませんか。</p> <p>先ほどお話に出ていましたが、デジタル化は気付いたときに便利だなと思っていただくことが、本当にそうなのかなと思います。</p> <p>やはり情報弱者の方に実はこんな便利なものがあるのかということ伝えていくところが、とても大事なかなと思います。</p> <p>そういう計画も一緒に含まれていくと、実際の中身の部分と、この施策をどうやって広げるかという部分を考えていく必要があるのかなと思いました。</p>  |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>C委員、何かご意見ございませんか。</p>  |
| C委員 | <p>こういった分かりやすい形の資料にさせていただいて、今までにないようなものになっているかなと思います。</p> <p>スピーディー、シンプルなどの観点は今まであまり言われてはこなかったところだと思いますので、そういったところも打ち出させていただいて非常に良いと思いました。</p>   |
| A委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>スモールスタートとおっしゃっていたように、私は失敗しても良いと思います。</p> <p>満点を取る必要はないので、施策を進めたが実現できなかった場合、引っ込める勇気もお持ちいただいて、進めたから絶対しないといけなるとなると、ますます使いにくくなると思います。</p> <p>スモールスタートで少し進めたけど、どうもうまくいかないというようなことがあって、やめるという選択もあった方が良く思うので、それが何で達成しなかったのかは、それこそPDCAで今度はどうしたら良いのかに繋げていただいたら良いと思います。</p> <p>いろいろなことを進めて、いくつも失敗した方がきっと良いと思います。</p> <p>失敗を恐れなくて、進めていかれたらと思います。</p> <p>市民の方の税金を使っているので、進めたら絶対達成しないといけな</p> |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>いということ、かえってお互いに悲しいことになりそうな気がします。</p> <p>できないと思ったら、潔くやめるというように進められた方が、業務を絞れることにも繋がり、より良いものが残っていくと思うので、いろいろなことを進めていただいたらと思います。</p> <p>今日出ましたいろいろなアイディアの出し方や、広報の仕方もいろいろ試されて、これはやはり問題だということは言われるかも知れませんが、逆に言うと、いろいろを試していただかないとそういうのも分からないので、行う前からこれはやめましょうというのは、やめたほうが良いかと思います。</p> <p>9月の懇談会1回目でもいろいろな意見を伺い、対応いただいた資料がこれということで、本日いただいた意見は全体的に良くなっているというような意見だと思います。</p> <p>さらに実際進める時にもう1つ改良いただけたらと思います。</p> <p>時間となりましたので、本日のディスカッションはこの辺で終わりたいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>本日はどうもありがとうございました。</p> <p>補足資料に記載をさせていただきましたとおりでございますが、本日は皆様から頂戴いたしましたご意見を踏まえまして、市民の皆様から広く意見を頂戴するパブリックコメント等を経て、本政策の策定を進めて参ります。</p> <p>本日いただきましたご意見の反映等につきましては別途、皆様に情報共有をさせていただきたいと考えています。</p>  |
| A委員 | <p>本日傍聴者の方も、今回のパブリックコメントでご意見を伝える機会がありますので、そちらをご利用ください。</p> <p>それではこれで会議を終わります。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>   |
| 一同  | <p>ありがとうございました。</p> <p><u>閉会</u></p>  |